

## 「ほっとけない」からの環境再生

「ほっとけない」からの環境再生

第72回  
「ほっとけない」からの環境再生

2017年6月16日(金)  
18:30~20:00

ハートピア京都  
3階大会議室

菊地 直樹  
二村 豊

TEL 075-707-2128  
FAX 075-707-2106

お申込み  
総合地球環境学研究所 企画室

会場  
ハートピア京都

主催  
総合地球環境学研究所

協賛  
京都府環境政策推進課

2017/06/16

菊地 直樹  
総合地球環境学研究所

1

## 今日の話

- 自己紹介
- 「もったいない」？「ほっとけない」？
- 包括的再生という考え方
- コウノトリの野生復帰の現場  
コウノトリ育む農法と小さな自然再生
- 「ほっとけない」のちから

2

## 自己紹介

- 1999年から、兵庫県立大学/兵庫県立コウノトリの郷公園の研究者としてコウノトリの野生復帰プロジェクトに参画
- ベースとなる学問分野：環境社会学
- 2013年から、総合地球環境学研究所「地域環境知形成による新たな commons の創生と持続可能な管理」プロジェクトに参加（2017年3月末終了）
- 地域の課題解決に貢献する超学際研究
- レジデント型研究の可能性の追求

3

## 自己紹介



4

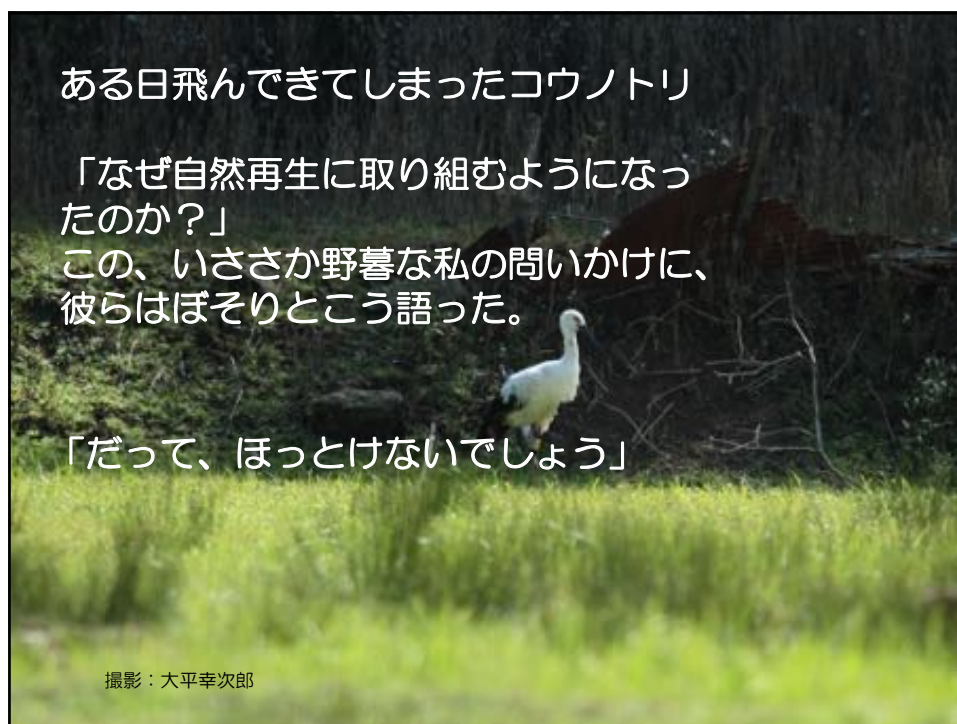
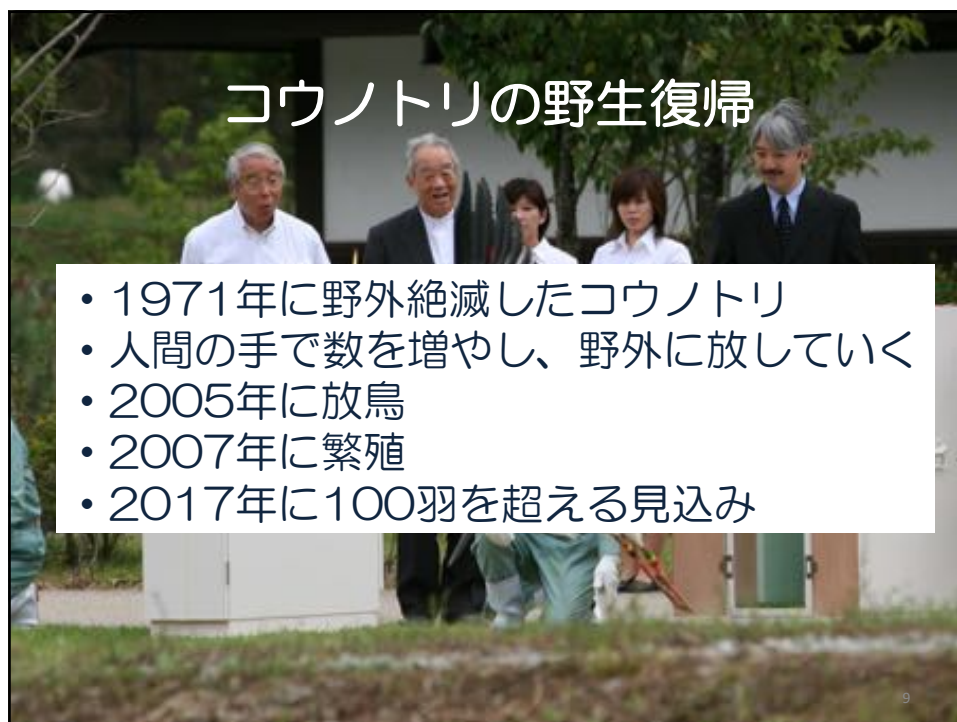


2010年1月17日 豊岡市内 なごみ茶屋

提供：三橋陽子<sub>5</sub>







## 「ほっとけない」

- 環境再生の現場を歩く私の「耳」に幾度となく入ってきた言葉
- この小さな声で語られる、日常的な言葉を手掛かりに、人びとにとっての環境再生のあり方を考えてみたい

11

「もったいない」？「ほっとけない」？



優秀なお孫さん



おじいちゃん

「もったいない」？「ほっとけない」？

おじいちゃん  
大学には行かずに、  
**就職**するよ



優秀なお孫さん



おじいちゃん

「もったいない」？「ほっとけない」？

おじいちゃん  
大学には行かずに、  
**就職**するよ



優秀なお孫さん



お前の学力なら  
京大に入れるだろ！  
なんや、**もったいない**



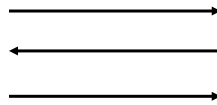
おじいちゃん

# 「もったいない」？「ほっとけない」？

じつは、親の負担を減らすため、働こうと思っているんだ



優秀なお孫さん



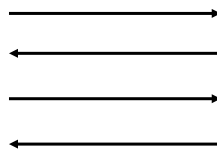
おじいちゃん

# 「もったいない」？「ほっとけない」？

じつは、親の負担を減らすため、働こうと思っているんだ



優秀なお孫さん



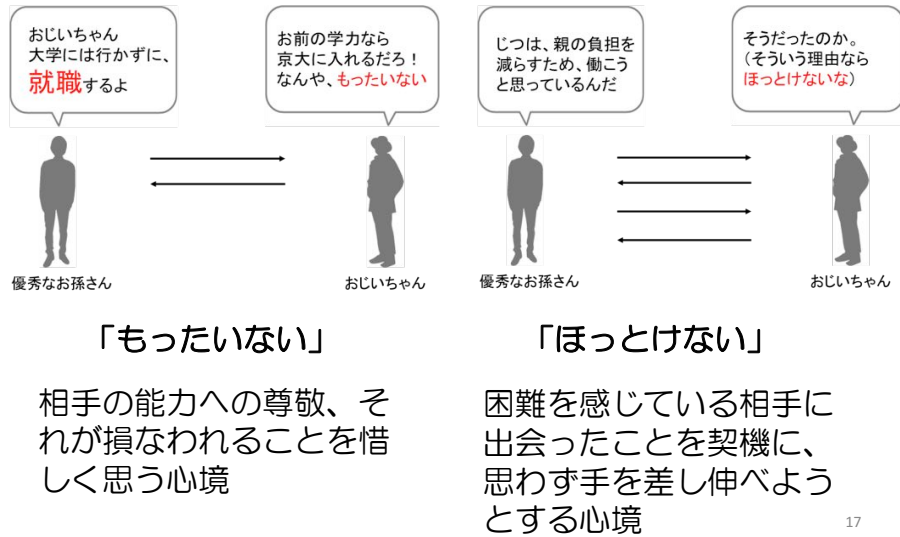
そうだったのか。  
(そういう理由なら  
ほっとけないな)



おじいちゃん



## 共感の度合いによる心境の違い



## 「ほっとけない」？「もったいない」？

散歩をしていた私は、コウノトリが怪我をして、死にかけている姿を見かけました。

生きものが大好きな私は、思わず「ほっとけない」とつぶやき、駆け寄るとともに、行政に連絡をしました。

コウノトリが死んで「もったいない」と言うのでしょうか？  
研究者なら言うかも？

## 里の鳥

田の草時分になるちゅうと、わしらが学校から帰って昼飯食って休む時分ですけども、その時分になると村の人は仕事からみんな帰って昼飯食いに帰ったただ。その暑い最中に、もう田の中に入ってそのシャツ裸であのもんですわ。あちこちに田の草をとっとる人があるようにある。

ほう、この暑いのに、まだ昼せんと何きばとんなるんだらうと、見行くちゅうと、そうじゃない。あのツルが田んぼの中歩いてほていこう餌を探して歩いとるのが、ちょうどあの半分上が白だもんですでえ。シャツ裸で田の草取っとるように見えるんですわあ（豊岡市男性 1918年生）。

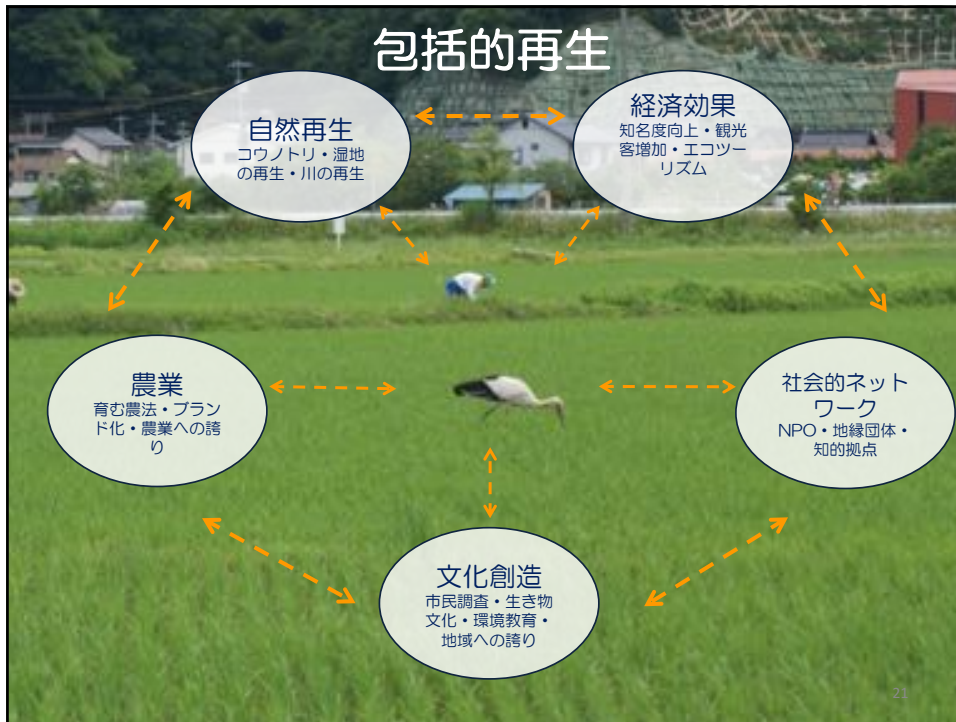
提供：西村英子

19

住民の語り（豊岡市70代男性）

「その重てえもん（噴霧器）負うてね、ほれからビニールの合羽着てね、ほて最初はマスクしたりしてね。えらあてえらあてとって出来れへんですわ。ほで田んぼ中ガサガサ歩いて回ってあの…防除したんですけどな。背中に負ってまあ…ほん…4、5年しましたまあ。それで結局あれであのもんがコウノトリがあかんようになったんと思うんですけどなあ。…コウノトリがまあだんだんおらんようになってコウノトリ、コウノトリがいうようになりましてわ」

20



## コウノトリの野生復帰の現場



23

## コウノトリ育む農法

### 水管理によって 生き物を育む

- 冬期湛水
- 早期湛水
- 深水管理
- 中干し延期

### 安全・安心な技術 導入で生き物を育む

- 堆肥・土作り資材の使用
- 温湯消毒
- 農薬に頼らない除草技術
- 減農薬（魚毒性の低いもの）

### 生き物が棲息し やすい水田づくり

- 水田魚道の設置
- 生き物の逃げ場の設置
- 畦草刈りの徹底

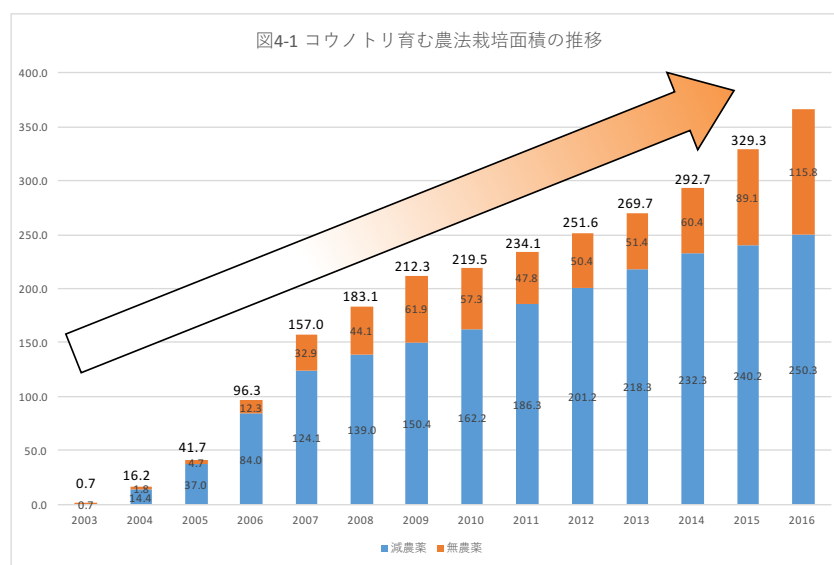


米＋生き物  
同時に育む

提供：内藤和明

24

## コウノトリ育む農法栽培面積の推移

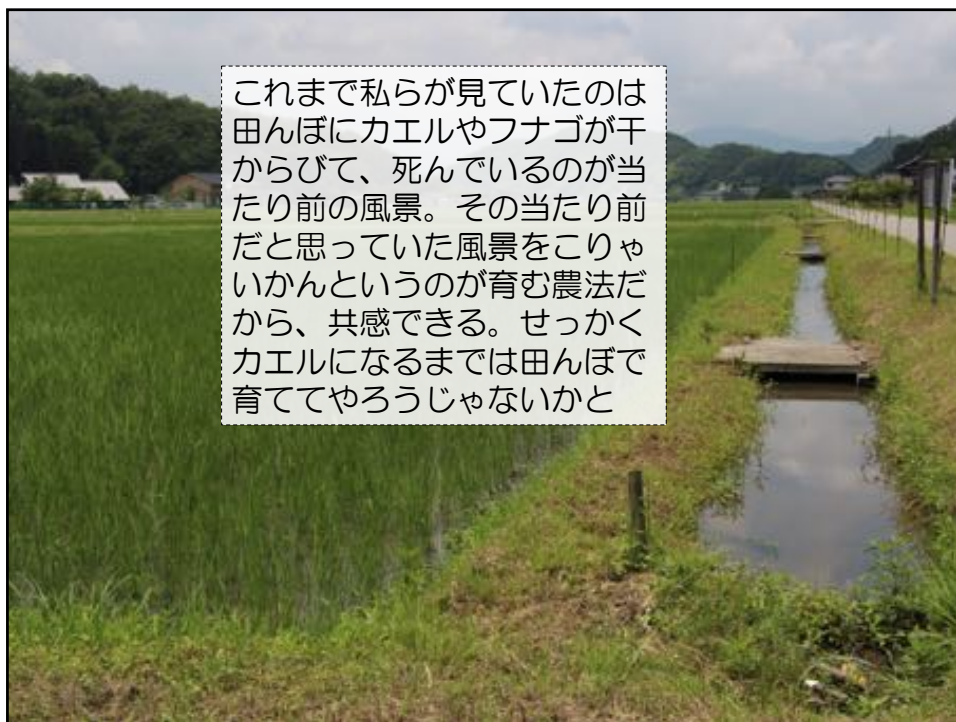


提供：豊岡市コウノトリ共生課 25

JAの買い取り価格の推移（円/30kg）

年	慣行栽培	コウノトリ育む農法	
		減農薬	無農薬
2005	6,500	8,400	10,500
2006	6,300	8,600	10,700
2007	6,000	8,600	10,800
2008	6,700	8,600	10,800
2009	6,700	8,000	10,800
2010	6,000	8,200	9,400
2011	7,100	8,200	10,000
2012	7,400	8,900	11,000
2013	6,600	8,400	11,000

提供：豊岡市コウノトリ共生課



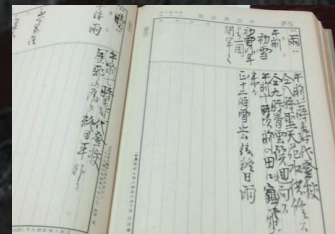
## 生きもののことが「ほっとけない」

	今の田んぼで見かけた生き物	昔の田んぼで見かけた生き物
両生類 カエル系	カエル 14 トノサマガエル 7 オタマジャクシ 4 アカガエル 4 ツチガエル 2 アマガエル 1 ヌマガエル 1 ヤマアカガエル 1 ウシガエル 1	カエル 6
昆虫類 トンボ 以外	クモ 7 イナゴ 5 バッタ 4 タイコウチ 2 ユスリカ 2 ホタル 2 虫 2 タモロコ 1 カマキリ 1 カメムシ 1 マツモムシ 1 ホタルの幼虫 1	バッタ 2 タガメ 1

29

## 「ほっとけない」からの小さな自然再生

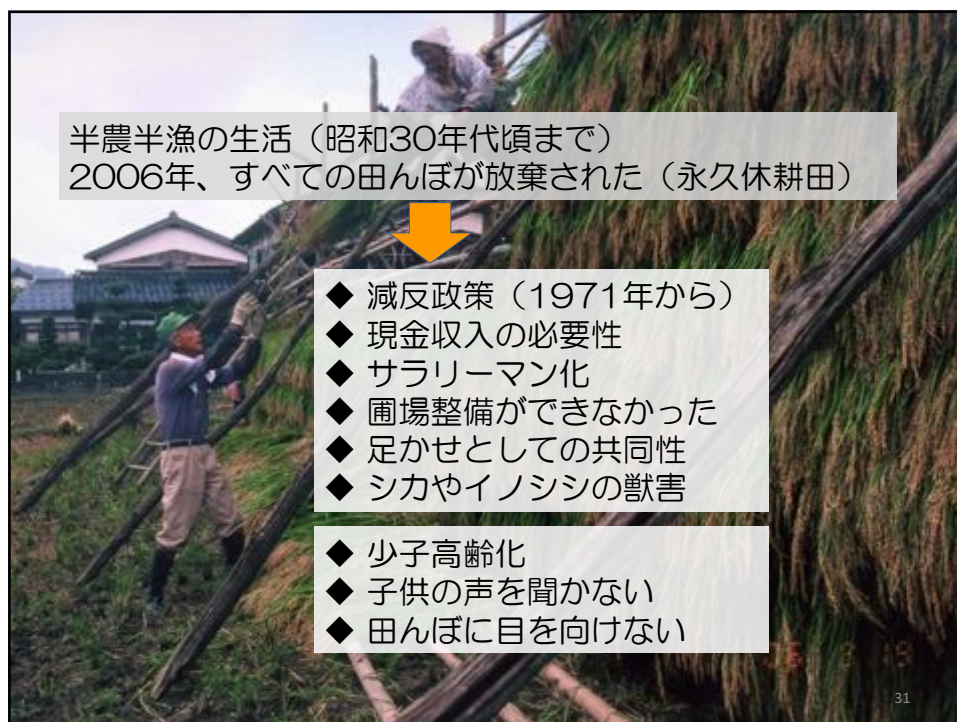
1936（昭和11）年12月3日  
西光寺：午前10時前の田に鶴飛び来ん



2008年4月、コウノトリ飛来  
来てしまったものは「ほっとけない」

撮影：大平幸次郎

30









## 小さな自然再生の社会的仕組み

### ①私有地の共有地化

田んぼという私有地の境界線を見せず、生息地という視点に基づく共有空間づくり

### ②村総出の作業

日役化による小さな自然再生の公式行事化

### ③よそ者の力の活用

住民だけではなくNPO、行政、ボランティア、研究者等の受け皿としての村



疑問：なぜ経済性がないのに、小さな自然再生に取り組んでいるのだろうか？

## 村の未来

●田んぼへの思い  
「先祖に申し訳ない」  
「荒れるのはつらい」  
田んぼへの意識化

●共同する思い  
「もやっこ」  
「ゆずりの土地」  
土地所有の重層性

●村を信頼する思い  
「村に任せている」  
「好きに使ってもらっ  
たらええ」  
管理主体としての村



## 今さらですが・・・

私は、リクツ抜きのコウノトリ好き、  
自然好きではありません・・・  
でも、コウノトリのことが、豊岡のことが「ほっとけなく」なったのです

野生復帰という「現場の力」である。その現場の力に、時に翻弄され、時に冷や汗をかき、時に興奮しながら、私は自分自身の言葉を創り出し、現場に戻し、そして評価してもらった。こうした経験を積み重ねていく中で、コウノトリと野生復帰は、私にとってすっかり「ほっとけない」問題となっていった。いって見れば、出会ってしまったコウノトリや野生復帰の問題を自らの問題として感じ取るようになったのである（pp.251-252）。

## 「ほっとけない」のちから

### 受動的な主体性

- ・ 否定形として表現される
- ・ 首尾一貫した主体性ではない

目の前にいる人間以外も含む他者に出会ってしまい、その困難を自らのものとして感じ取る能力を表す言葉とっていいだろう。そうした他者の困難を取り除こうとするかわりの発露が「ほっとけない」ではないだろうか (p.21)。

- ①受動的な主体性：環境にかかわろうとする当事者性（人のことと自分のことの重ね合わせ）の発露
- ②柔軟なかかわり：相手によって自分も変わる、自分によって相手も変わるという柔軟性
- ③共感から納得へ：お互いが変わることで生まれてくる相互理解

41

## 「ほっとけない」のちから

### 日本発！ “Hottokenai” ！

英語に訳すのが難しい！

‘Can’t help caring’ sentiment と訳してみましたが・・・

むしろ、日本語から世界へ発信しよう！

42

